

パンタナル通信

南北米福地開発協会

会報

2008年2月1日

53号



2007/12/21

レダに現れた瑞雲



木の剪定をする神山会長



3年ぶりの現地労働者との懐かしい出会い

久しぶりにレダの地を訪れた神山会長は、各農場をめぐつて、炎天下、汗ビックショリになりながら詳しく述べ、トロファやモリンガ、タルタゴ、縁肥、二ームなどの成長を見られ、ひとつひとつの植物の説明をされた。日本並びにアメリカの会員のために現在のレダの発展の状況と会長の説明をビデオに収めることが出来た。レダで体が動かせることが楽しくて仕方が無いと言う心情で、「レダにいると三年半のブランクが取り払われる、ここであれもしたい、これもしたい」と意欲や構想が次々湧いてくる」と語られています。（飯野記）

レダ訪問

南北米福地開発協会神山会長



レダ現地にて正月を過ごす飯野事務所

(前列左から佐野氏、中田氏、飯
野事務総長、紅屋氏、後列左から金
子氏、大山氏、伊達氏、大和田氏、

前回は、おもに本の構成者の画分について述べた。

地球環境問題 (飯野事務総長より)

問題一：次の文章の中の空白番号部分に

適切な言葉を入れて下さい。

地球環境問題（ちきゅうかんきょうもんだい）とは、環境問題の一種で、問題の発生源や被害が特に広域的な（地球規模の）ものと指す。

環境問題の一部は、「ごみ問題、局地的な公害のように、国やその一部地域内で発生し、比較的完結したものに留まる。これに対し、地球破壊、

雨のように、発生源や被害地が必ずしも一定地域に限定できないものがある。このような問題が主に地球環境問題に該当する。

地球環境問題の一例として、地球規模での化現象が挙げられる。人類が農業を始めるようになつて、多くの地域が化している。エジプト、メソポタミア（現在のイラク）、インダスなど、

の栄えた地域は、乱開発により完全に化している。文明の栄えた初期には、これらの地域には森林が広がり、非常に肥えた土壌を誇っていた。

土地が化した結果、食物が育たないようになり、土地の水分が失われ、最終的に雨が降らなくなつた。現在もこの面積は増え続けている。一年の間に約六〇〇万ヘクタール（九州と四国を合わせた程度の面積）が化しているといわれる。

主な地球環境問題として、次のようなものがしばしば挙げられる。

(1) 工業化の進展や自動車の普及に伴う
汚染、雨

(2) 工業排水や生活排水などによる汚染・土壤汚染
(3) ガスの排出による

（4）炭素等の スの放出などによる地球 破壊

(5) 開発にともなう、多様性の減退・生態系の破壊

(6) 自然への影響を考えない土地の開発、を考慮しない大規模な森林



《解答》

問題一 溫暖化、オゾン層、砂漠化



東京近郊の会員新年会（1月13日）



事務局前にある大山街道ふるさと会館において新年会を行い、多くの会員が参加しました。午前中は柴沼事務局長がパワー・ポイントを用いて、昨年一年間の活動報告と今年の計画について報告をし、午後は親睦会で歌、ビンゴ大会、じゃんけん大会をし、皆、童心に帰る楽しいひと時を過ごしました。

二〇〇八年度の日本での基本的な活動計画は四月二五日から五月五日までのパンタナールエコツアー、八月に第八回国際協力青年奉仕隊をパンタナールへ送ること、レダの地の植林を『NPO地球の縁を守る会』と協力しておこなう。教育活動として月に一度の環境セミナーの開催、会員の交流のため、月に一度の釣り大会をしていく等のことが決定されました。

一日環境セミナー御案内

日時	二〇〇八年一月二十四日（日）
場所	南北米福地開発協会 事務局
参加費	一千円（昼食付き）

午前中

『温暖化対策における植樹活動の意義』

地球の縁を守る会 理事長

高津啓洋

午後

『パンタナールエコツーリズムの魅力』

南北米福地開発協会 事務局長

柴沼邦彦

南北米福地開発協会 事務局
〒191-3100
神奈川県川崎市高津区
溝口三十一十一一十五
岩崎ビル四F
○四四一八一九一一八一
一一三一〇〇〇一
一一一八〇一七七六八〇四七一
FAX 会費納入 電話
一〇一八〇一七七六八〇四七一
一一一八〇一七七六八〇四七一
E-mail office@asd-nsa.jp
ホームページ
<http://www.asd-nsa.jp>